

令和元年上半期分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「半導体等電子部品」などは減少したものの、「自動車」、「石油製品」などが増加したことから対前年同月比 6.1%の増加となった。また、輸入額は「原油及び粗油」などが減少したものの、「液化天然ガス」、「石油製品」などが増加したことから、同 0.8%の増加となった。

その結果、差引額は3,869億円（同 4.5%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	4,250億円	+6.1%	8,119億円	+0.8%	▲3,869億円	▲4.5%
	2期連続の増加		5期連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	234億円	20倍	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	1602億円	+12.3%
		(2) 石油製品	599億円	+25.7%			(2) 石油製品	262億円	+11.7%
		(3) 荷役機械	118億円	+455.6%			(3) 電気回路等の機器	46億円	+85.7%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	27億円	▲68.4%		減少品目	(1) 原油及び粗油	4209億円	▲4.7%
		(2) プラスチック	264億円	▲15.4%			(2) 石炭	172億円	▲11.7%
		(3) 原動機	72億円	▲34.0%			(3) 有機化合物	96億円	▲17.6%
地域別動向	増加：西欧、大洋州 など 減少：アジア など			地域別動向	増加：大洋州、アジア など 減少：中東 など				

（参考）ドルレートは、110.28円（前年同月比1.2%、1.35円の円安）であった。

（注）令和元年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年同期との比較による。